

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)

【公表番号】特表 2000-506125 (P2000-506125A)

【公表日】平成 12 年 5 月 23 日 (2000.5.23)

【出願番号】特願平 9-529806

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 9/06

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/02

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 38/21

A 6 1 K 39/00

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/12

【F I】

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 31/00 6 3 5

A 6 1 K 31/00 6 3 7 A

A 6 1 K 39/00 G

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/66 G

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 2 月 23 日 (2004.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

16.2.23

平成 年 月 日



特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示 平成 9 年特許願第 5 2 9 8 0 6 号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 ベーリンガー インゲルハイム インターナショナル
ゲゼルシャフト ミット ベシュレンクテル
ハフツング

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内 3 丁目 3 番 1 号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正対象書類名 明細書

6. 補正対象項目名 請求の範囲

7. 補正の内容 別紙記載の通り

方 式 査 査



請求の範囲

1. 免疫調節活性を有する、少なくとも1つのペプチド、タンパク質またはタンパク質断片をアジュバントと共に含む医薬組成物であって、前記アジュバントが、治療される個体の細胞への前記ペプチドまたは前記タンパク質または前記タンパク質断片の結合を増大させることができ、または、細胞への前記ペプチドまたは前記タンパク質または前記タンパク質断片の取込みを増加させることができ、かつ、前記ペプチドまたは前記タンパク質または前記タンパク質断片の免疫調節活性を増大させることを特徴とする医薬組成物。
2. ペプチドまたはタンパク質の細胞分解物またはタンパク質断片が、治療される個体が発現している少なくとも1つの MHC 分子のリガンドであることを特徴とする、請求項1に記載の医薬組成物。
3. ペプチドまたはタンパク質の細胞分解物またはタンパク質断片が MHC-I 分子のリガンドであることを特徴とする、請求項2に記載の医薬組成物。
4. ペプチドまたはタンパク質の細胞分解物またはタンパク質断片が MHC-II 分子のリガンドであることを特徴とする、請求項2に記載の医薬組成物。
5. 病原体のタンパク質に由来するペプチドを含むことを特徴とする、請求項1～4のいずれか1項に記載の医薬組成物。
6. ペプチドがバクテリアのタンパク質に由来することを特徴とする、請求項5に記載の医薬組成物。
7. ペプチドがウイルスタンパク質に由来することを特徴とする、請求項5に記載の医薬組成物。
8. タンパク質が腫瘍抗原であるか、またはタンパク質断片若しくはペプチドが腫瘍抗原に由来することを特徴とする、腫瘍ワクチンとしての請求項1～4のいずれか1項に記載の医薬組成物。
9. 腫瘍抗原が、治療される個体が発現している腫瘍抗原に由来することを特徴とする、治療に使用される請求項8に記載の医薬組成物。
10. 腫瘍抗原が一般に生ずる腫瘍抗原の代表的なものに由来することを特徴とする、予防的に使用される請求項8に記載の医薬組成物。
11. 腫瘍抗原がメラノーマ抗原であることを特徴とする、請求項8～10のい

ずれか 1 項に記載の医薬組成物。

12. サイトカインをも含むことを特徴とする、請求項 8～11 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

13. サイトカインが、IL-2、IL-4、IL-12、IFN- α 、IFN- β 、IFN- γ 、IFN- ω 、TNF- α 、GM-CSF またはそれらの混合物からなる群より選ばれることを特徴とする、請求項 12 に記載の医薬組成物。

14. 治療される個体の異なる MHC サブタイプに結合するという点で異なる複数のペプチドを含むことを特徴とする請求項 2～11 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

15. 天然に生ずる免疫原性タンパク質または腫瘍抗原またはそれらの細胞分解物に由来する 1 またはそれ以上のペプチドを含むことを特徴とする、請求項 2～14 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

16. 天然に生ずる免疫原性タンパク質または腫瘍抗原またはそれらの細胞分解物に由来するペプチドと異なる 1 またはそれ以上のペプチドを含むことを特徴とする、請求項 2～14 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

17. ペプチドが、自己免疫疾患の原因となるタンパク質に由来するペプチドのアンタゴニストである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

18. アジュバントが有機ポリカチオンまたは有機ポリカチオンの混合物であることを特徴とする、請求項 1～17 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

19. ペプチドが負に帯電していることを特徴とする、請求項 18 に記載の医薬組成物。

20. アジュバントが塩基性ポリアミノ酸または塩基性ポリアミノ酸の混合物であることを特徴とする、請求項 18 または 19 に記載の医薬組成物。

21. アジュバントがポリアルギニンであることを特徴とする、請求項 20 に記載の医薬組成物。

22. アジュバントがポリリジンであることを特徴とする、請求項 20 に記載の医薬組成物。

23. アジュバントが細胞リガンドと結合していることを特徴とする請求項 18～21 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

24. リガンドが炭水化物残基であることを特徴とする、請求項23に記載の医薬組成物。

25. リガンドがフコースであることを特徴とする、請求項24に記載の医薬組成物。

26. リガンドがトランスフェリンであることを特徴とする、請求項23に記載の医薬組成物。

27. 機能のあるタンパク質をコードする配列を有しないDNAをも含むことを特徴とする、請求項18～26のいずれか1項に記載の医薬組成物。

28. 免疫調節タンパク質をコードするDNAをも含むことを特徴とする、請求項18～26のいずれか1項に記載の医薬組成物。

29. 免疫調節タンパク質が IL-2、IL-4、IL-12、IFN- α 、IFN- β 、IFN- γ 、IFN- ω 、TNF- α または GM-CSF からなる群より選ばれることを特徴とする、請求項28に記載の医薬組成物。

30. 非経口的投与のための、請求項1～29のいずれか1項に記載の医薬組成物。

31. 製薬的に許容できる担体中の、ペプチドおよびアジュバントの溶液または懸濁液の形態であることを特徴とする、請求項30に記載の医薬組成物。

32. 局所的な適用のための、請求項1～29のいずれか1項に記載の医薬組成物。

33. ヒドロゲルの形態である、請求項32に記載の医薬組成物。